

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 1 月 1 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503320		
法人名	有限会社クラフト・ケイ		
事業所名	グループホーム 和楽		
所在地	福山市新市町戸手803-8 (電話) 0847-52-7577		
自己評価作成日	平成23年1月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksiks.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=3471503320&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年2月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

月4回以上の行事を行っている。また、年2回和楽ならではの地域・家族との交流会を行い毎回好評を頂いている。他に地域行事へ積極的に参加をし、親しみやすい「和楽」を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、2階建てを活用した建物、2ユニット（定員18名）である。ホームの周辺静かな環境でもあり、ホーム全体が”和”を基調とした構造設計となっている。ホーム内は、囲炉裏や入居者が作成した作品を取り入れ、季節に合わせた食物や飾り付けを行い、癒しの空間となっている。大きな窓の活用や各居室に採光が入る構造設計により、開放感や季節感が感じる生活空間となっている。地域ボランティアも定着しており、行事を盛んに行い、何事も2ユニット合同で行っている。町内の祭りや行事に参加し、社会の構成員の一人として、地域交流を図っている。レクリエーションを行うなか、職員も入居者に寄り添う支援、学ぶ姿勢のもと、入居者と職員との双方のコミュニケーションを密に行っている。職員がホーム全体を良くしようという姿勢のなか、穏やかな対応に心掛け、入居者の表情から、家庭的で心休まり安心して生活されているのが伺えた。

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を額に入れ1階、2階に見えやすいところに掲げている。会議、毎月のミーティングでグループホームのあり方を確認、助言を行い記録を取っている。日々のケアを常に意識して、申し送りノートに記入し全員が確認している。	開所当初に、代表者は思いを職員に伝え、その思いは受け継がれている。全職員が話し合っ、入居者が日々の生活に満足していただくための基本理念を作りあげている。職員は、出勤時に必ず理念の確認と、自己点検を行い、日々の中で意識しながら、入居者の支援に心掛けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のボランティアの方の訪問や、地域の保育所へ招かれたり、文化祭、福祉祭などにも、出来る範囲で出掛けている。	地域の皆様と顔なじみの関係が出来ている。ボランティアの訪問やヘルパー実習などを受け入れ、町内の祭りや行事などに参加し、ホームが孤立しないような積極的な関わりを持つ努力がなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症キャラバンメイトなどで、講演させてもらったり、地域の方や、デイサービス利用のご家族の方などの相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年6回の運営推進会議で報告や意見交換会など行い、利用者によりよいサービスケアになるようにしている。	参加者の都合に合わせた会議日程として、2ヶ月に1回開催している。内容としては、ホームの現状を知って頂くことを中心に行い、様々な機関が集まる中で意見交換を行ない、また参加者からの意見や要望などの提案もあり、それらを活かしながらサービスの質向上に努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	週1回の地域の連絡会（行政・福祉施設・居宅など）に出来るだけ参加し、連携を図っている。	週1回、地域の連絡会の集まりがあり、各事業所との情報交換やネットワーク作りに努め協力関係を築くよう取り組んでいる。なお、広報誌の発行（月1回）を通じ、地元の関係機関（居宅・病院・老人保健施設・特別養護老人ホーム・民生委員・ボランティア関係）へ配布している。	

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束はしていない。ただし夜間（19時30から翌日8時30）2階、階段に安全確保のためフェンスをさせてもっている。</p>	<p>安全面として、夜間のみ2階の階段に転落防止としてフェンスを設置している。職員一人ひとりが身体拘束の目的を理解しており、常に職員は、自然な見守りのケアのなかで、日々実践している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>内部研修で高齢者虐待防止に関することを学び、言葉使いや態度など、気になることがあれば職員同士で注意し合い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>認識している職員もいるが、詳しくは学んでいないので、今後取り組んでいく。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、重要事項説明書、契約書などにて説明し、質問や疑問点を聞き、理解納得をしてもらっている。退所される場合、次の行き先や不安なことなどに対し助言させてもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見、要望など聞き記録として残し、行政への連絡先など伝え、運営に反映させている。</p>	<p>本人・家族などからの意見・要望・感想などを、記録として残している。それらの貴重な意見をミーティングなどで話し合い、運営に反映している。</p>	

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングで意見や提案を聞いている。また、日常の会話などでも意見や提案を聞いている。</p>	<p>月1回の全体ミーティングや毎日のミーティングの機会情報を共有し、入居者支援についての話し合いを行っている。個々の介護計画に基づいて介護記録など整備され、常に介護計画に基づいた支援をしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>有資格者に対しての手当。本人の勤務努力によって年1回の昇給。定期的な親睦会など行って、働きやすい職場にしている。来年度より社員旅行を計画している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>内部研修を2ヶ月に1回行ったり、外部研修も行ける範囲で行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者への訪問、及び研修生の受け入れ、週1回の地域同業者との現状報告会など行い質の向上を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に本人ともしっかりお話をさせてもらったり、何度か入居者の方と関われる時間を作ってもらうなど、安心してもらえるように努めている。</p>		

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	相談・見学・利用に至るまで、家族が困っている事、不安に思っている事など聞き、受け止め安心して頂けるような対応をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	居宅や病院などと連携をとり相談させてもらったり、緊急性の高い人を優先させてもらったり、他のサービス利用(お泊りデイ・高専貸・小規模多機能など)も含め対応をさせてもらっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	野菜作り、料理方法、お餅のつき方など、教えて頂いたり、出来る事は一緒にやらせてもらいながら、いい関係が築けるようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の面会時、又は電話など利用し、現状報告をし、家族の思いを聞いている。また、行事などにも参加してもらっている。家族の思いを本人にお伝えしたり、日々家族の話をしながら共に本人を支えていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の住まれていた近所の人やお友達などの行き来が出来るよう、また思い出の場所に行けるよう努めている。	入居前の見学の実施等を通じて、出来る限りの情報収集を行っている。悩みなど聞きながら以前との関係が途切れないよう、個別対応を本人及び家族に十分説明し、利用して頂いている。	

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	認知力低下の為、なかなか利用者同士、関わりあう事が難しいが、席を移動したり職員が間に入るなどして、できるだけ孤立しないようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居されても、その後の経過を把握し、相談やアドバイスができるようにしている。		
ほ					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人を中心にどのようにする事が一番いいのか、日常的に話し合ったり、家族・本人から話を聞き個性を尊重できるようにしている。	個々の生活歴を把握するなか、本人の能力を奪わない支援に心掛けている。日々の記録に関しても、入居者個々の発言内容や介護計画に沿った記録としている。入居者に極力寄り添い、本人の希望や意向に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族から生活歴など聞かせてもらったり、居宅のケアマネから情報を得たりし、職員で共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人の介護日誌に一日の行動の過ごし方、精神・身体状態など細かく記入し、現状の把握に努めている。		

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族の面会時、又は電話など利用し、意見・要望など聞き、それらを取り入れながら作成し、サインをもらっている。</p>	<p>3ヶ月に1回、見直しを行っている。本人や家族などからの意見・要望・感想などを、記録として残している。それらを基に、現状に即した介護計画を作成及び実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人の介護日誌、管理日誌、スタッフ向けの申し送りノートがあり、一日の様子が分かるように、日勤・夜勤で色を変えて個別に記入している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時の状況に応じて、家族と相談しながら支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員、ボランティア、福祉施設、教育機関、消防署などの協力も得ている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>24時間対応の医療機関があるので、何かあればすぐ医師に連絡が取れるようになっている。</p>	<p>利用時に、意向のかかりつけ医を決定している。医師の診察を2週間に1回受けて頂く往診体制や24時間対応の医療機関が整っており、適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>	

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師に相談したり、協力医療機関に気軽に相談し、指示をあおって対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族の方とよく相談し、安心して頂けるようサポートしている。協力医療機関と情報交換を行い連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族、協力医療機関と話し合い、全員で方針を共有し取り組んでいる。	指針に準じ、ホームとして最大限可能な支援を十分に家族と話し合いをもっている。病状変化があるため、家族、協力医療機関とその都度話し合いを行い、職員全員その対応方針を共有し取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを参考に、定期的に研修を行ったり、消防訓練も年2回は行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練を行ったり、近所にも協力を依頼している。	消防署の協力を得て、年2回防災訓練を実施している。訓練時には、近隣住民の方にも協力をお願いし、入居者も避難訓練及び能力に応じて、消火訓練を行っている。併設施設のデイサービスからの応援体制が整っており、常に協力体制が出来ている。	

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その人のリズムや、ペースに合わせ尊重した対応に心掛けている。	個々の状況を把握し、本人の能力や役割を見つけだし、出来るところはお手伝いをお願いしている。個人情報やプライバシーが保てるように、各職員が配慮し、入居者一人ひとりの人権・権利を意識しながら、個々に合った支援及び声掛けには十分気をつけた対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べ物や飲み物、衣類や外出など、出来るだけ本人の意思・希望を聞き尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日、その日で入居者一人一人のペースを保つように心掛けており、さり気なくサポートしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	一人一人の好みで、お化粧品・髪型・服装をして頂いている。また、美容院に付き添ったり、その人の希望に合わせカットをしたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	買い物、野菜を切ったり、テーブル拭き、下膳、食器洗いなど、出来る事は手伝ってもらっている。職員も同じテーブルで食べている。	月2回の体重測定を実施し、個々の栄養摂取量に見合った食事の提供をしている。入居者個々の能力に応じて、下膳や片付けなどをして頂き、職員も同じ時間に同じ食事を食べるよう努力されている。	

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士がいるので，栄養バランスを考えカロリー・量なども人により変えている。水分量にも気をつけ最低1リットルは飲んでもらえるよう，なかなか飲めない人は一日の水分摂取量を記入している。飲み物はお茶だけではなく，コーヒー・紅茶など好きな物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>声かけで歯磨きに行かれる方，介助にて行わせてもらっている方，うがいができない方はハミングッドなどで清潔保持をさせてもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを記録し，一人一人に合った時間帯に声かけをしたり，誘導したりしている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し，極力トイレ誘導し，声掛けや見守りを行っている。便秘予防として，起床時に麦茶を摂取して頂いている。適時水分摂取に心掛け自然排便を促している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>起床時に一杯のお茶を飲んでもらったり，繊維質の物を食材に取り入れたり，体操なども行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の希望に合わせ，毎日の人や一日おきの人など，時間帯も希望を聞いたりタイミングで入れるように支援をしている。</p>	<p>毎日の方や一日おきの方など，希望に合わせた入浴をして頂いている。入浴拒否の対応として，対応職員の声掛けの工夫をしたり，やむを得ず入浴されない場合は，次の曜日に入浴して頂くなど柔軟な対応の支援をしている。</p>	

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人一人の生活リズムを把握し、安眠に繋げている。またその日の状態や希望により、居室や囲炉裏で休んでいただく事もある。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	一人一人に薬手帳があり、職員は理解している。服薬は飲み込みまで確認している。変化があれば医師に相談させてもらっている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	生活歴を把握し、その力が発揮できるように、出来る事は何でもして頂き、気分転換など出来るようにしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	近場であれば、外出として行くことはあるが、そうでない場合は、家族にお願いする事もある。	本人の意思を尊重したり、時候やその日の気分や体調に配慮し外出支援を実施している。遠方などの場合は、家族と相談しながら家族対応での協力をお願いする場合がある。外出を通じて、地域の皆様との交流が図れるよう機会づくりに努めている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	家族よりおこずかいとしてお預かりし、買い物に行ったとき使ってもらったり、ご自分で管理されている人もいます。		

1階 なごみ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があればいつでもできるようにしている。連絡などでご家族に電話をしたり、手紙を送ったりする時は、代わって話をしてもらったり、同封したりしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関に椅子を置いたり、レースのカーテンをし、眩しくないようにしたり、花を飾ったり、音楽をかけるなど工夫をしている。	入居者が作成した作品を取り入れ、季節に合わせた植物や飾り付けをしている。共同空間が家庭的で、ホーム内も適度な採光が入り、全職員も穏やかな対応を心掛け、入居者一人ひとりが心休まり安心して生活されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホールに椅子を置いたり、囲炉裏に座ってお話をされたり、テレビを見られたりされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今まで使われていた布団・タンス・テーブル・椅子・洋服かけ・ご家族の写真など持って来られ居心地のよいようにされている。	入居時や必要時その都度相談しながら、私物を自由に持ち込まれている。本人が居心地よく生活できるように、常に相談しながら環境調整に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ・入浴・居室など目印になるものをしたり、バリアフリーで移動しやすいようにしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を額に入れ1階、2階に見えやすいところに掲げている。会議、毎月のミーティングでグループホームのあり方を確認、助言を行い記録を取っている。日々のケアを常に意識して、申し送りノートに記入し全員が確認している。	開所当初、社長の思いを職員に話しをし、その思いが今でも受け継がれている。ケアの視点に立ち、入居者が日々の生活に満足していただくための基本理念を作りあげている。職員は、出勤時に必ず理念を確認して自己点検を行うなか、日々意識した入居者支援に心掛けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のボランティアの方の訪問や、地域の保育所へ招かれたり、文化祭、福祉祭などにも、出来る範囲で出掛けている。	地域の皆様と顔なじみの関係が出来ている。ボランティアの訪問やヘルパー実習などを受け入れ、町内の祭りや行事などに参加し、ホームが孤立しないよう積極的な関わりを持つよう努力されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症キャラバンメイトなどで、講演させてもらったり、地域の方や、デイサービス利用のご家族の方などの相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年6回の運営推進会議で報告や意見交換会など行い、利用者によりよいサービスケアになるようにしている。	参加者の都合に合わせた会議日程とし、2ヶ月に1回開催している。内容としては、ホームの現状をさせて頂くことを中心に行い、様々な機関が集まる中で意見交換を行うなか、また参加者からの意見や要望など提案もあり、それらを活かしたサービスの質の向上に努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	週1回の地域の連絡会（行政・福祉施設・居宅など）に出来るだけ参加し、連携を図っている。	週1回、地域の連絡会の集まりがあり、各事業所との情報交換やネットワーク作りに努め協力関係を築くよう取り組んでいる。なお、広報誌の発行（月1回）を通じ、地元の関係機関（居宅・病院・老人保健施設・特別養護老人ホーム・民生委員・ボランティア関係）へ配布している。	

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束はしていない。ただし夜間（19時30から翌日8時30）2階、階段に安全確保のためフェンスをさせてもっている。</p>	<p>安全面として、夜間のみ2階の階段に転落防止としてフェンスを設置している。職員一人ひとりが身体拘束の目的を理解しており、常に職員は、自然な見守りのケアのなかで、日々実践している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>内部研修で高齢者虐待防止に関することを学び、言葉使いや態度など、気になることがあれば職員同士で注意し合い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>認識している職員もいるが、詳しくは学んでいないので、今後取り組んでいく。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、重要事項説明書、契約書などにて説明し、質問や疑問点を聞き、理解納得をしてもらっている。退所される場合、次の行き先や不安なことなどに対し助言させてもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見、要望など聞き記録として残し、行政への連絡先など伝え、運営に反映させている。</p>	<p>本人・家族などからの意見・要望・感想など記録として残している。それらの貴重な意見をミーティングなどで話し合いを行い運営に反映している。</p>	

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	毎月のミーティングで意見や提案を聞いている。また、日常の会話などでも意見や提案を聞いている。	月1回の全体ミーティングや毎日のミーティングの機会に情報を共有し、入居者支援についての話し合いを行っている。個々の介護計画に基づいて介護記録など整備され、常に介護計画に基づいた支援をしている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	有資格者に対しての手当。本人の勤務努力によって年1回の昇給。定期的な親睦会など行って、働きやすい職場にしている。来年度より社員旅行を計画している。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	内部研修を2ヶ月に1回行ったり、外部研修も行ける範囲で行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	同業者への訪問、及び研修生の受け入れ、週1回の地域同業者との現状報告会など行い質の向上を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居前に本人ともしっかりお話をさせてもらったり、何度か入居者の方と関われる時間を作ってもらうなど、安心してもらえるように努めている。		

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	相談・見学・利用に至るまで、家族が困っている事、不安に思っている事など聞き、受け止め安心して頂けるような対応をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	居宅や病院などと連携をとり相談させてもらったり、緊急性の高い人を優先させてもらったり、他のサービス利用(お泊りデイ・高専貸・小規模多機能など)も含め対応をさせてもらっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	野菜作り、料理方法、お餅のつき方など、教えて頂いたり、出来る事は一緒にやらせてもらいながら、いい関係が築けるようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の面会時、又は電話など利用し、現状報告をし、家族の思いを聞いている。また、行事などにも参加してもらっている。家族の思いを本人にお伝えしたり、日々家族の話をしながら共に本人を支えていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の住まれていた近所の人やお友達などの行き来が出来るよう、また思い出の場所に行けるよう努めている。	入居前の見学の実施や出来る限り情報収集を行っている。悩みなど聞きながら以前との関係が途切れないよう、個別対応を本人及び家族に十分説明し利用して頂いている。	

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	認知力低下の為、なかなか利用者同士、関わりあう事が難しいが、席を移動したり職員が間に入るなど利用者同士での会話を増やしていく事で、出来るだけ孤立しないようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居されても、その後の経過を把握し、相談やアドバイスができるようにしている。		
ほ					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人を中心にどのようにする事が一番いいのか、日常的に話し合ったり、ミーティングで話し合ったりしている。個別に趣味を生かせる関わりを持つようにしている。（ウォーキング・編み物・裁縫など）個性を尊重できるようにしている。	個々の生活歴を把握するなか、本人の能力を奪わない支援に心掛けている。日々の記録に関しても、入居者個々の発言内容や介護計画に沿った記録としている。入居者に極力寄り添い、本人の希望や意向に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族から生活歴など聞かせてもらったり、居宅のケアマネから情報を得たりし、職員で共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人の介護日誌に一日の行動の過ごし方、精神・身体状態など細かく記入し、現状の把握に努めている。		

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族の面会時、又は電話など利用し、意見・要望など聞き、それらを取り入れながら作成し、サインをもらっている。</p>	<p>3ヶ月に1回見直しを行っている。本人や家族などからの意見・要望・感想など記録として残している。それらを基に現状に即した介護計画を作成及び実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人の介護日誌、管理日誌、スタッフ向けの申し送りノートがあり、一日の様子が分かるように、日勤・夜勤で色を変えて個別に記入している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時の状況に応じて、家族と相談しながら支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員、ボランティア、福祉施設、教育機関、消防署などの協力も得ている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>24時間対応の医療機関があるので、何かあればすぐ医師に連絡が取れるようになっている。</p>	<p>利用時に、意向のかかりつけ医を決定している。医師の診察を2週間に1回受けて頂く往診体制や24時間対応の医療機関が整っており、適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>	

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師に相談したり、協力医療機関に気軽に相談し、指示をあおって対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族の方とよく相談し、安心して頂けるようサポートしている。協力医療機関と情報交換を行い連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族、協力医療機関と話し合い、全員で方針を共有し取り組んでいる。	指針に準じ、ホームとして最大限可能な支援を十分に家族と話し合いをもっている。病状変化があるため、家族、協力医療機関とその都度話し合いを行い、職員全員その対応方針を共有し取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを参考に、定期的に研修を行ったり、消防訓練も年2回は行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練を行ったり、近所にも協力を依頼している。	消防署の協力を得て、年2回防災訓練を実施している。訓練時には、近隣住民の方にも協力をお願いし、入居者も避難訓練及び能力に応じて、消火訓練を行っている。併設施設のデイサービスからの応援体制が整っており、常に協力体制が出来ている。	

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その人のリズムや、ペースに合わせ尊重した対応に心掛けている。	個々の状況を把握し、本人の能力や役割を見つけだし、出来るところはお手伝いをお願いしている。個人情報やプライバシーが保てるように、各職員が配慮し、入居者一人ひとりの人権・権利を意識しながら、個々に合った支援及び声掛けには十分気をつけた対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べ物や飲み物、衣類や外出など、出来るだけ本人の意思・希望を聞き尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日、その日で入居者一人一人のペースを保ちさり気なくサポートすることを心掛け、個別支援できるようにスタッフ間で話し合いを持つようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	一人一人の好みで、お化粧品・髪型・服装をして頂いている。衣類や化粧品など一緒に買いに行く事もある。また、美容院に付き添ったり、その人の希望に合わせてカットをしたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の買出しから食材の下ごしらえ、調理、テーブル拭き、配膳・下膳、食器洗いなど、出来る事は手伝ってもらっている。職員も同じテーブルで食べている。	月2回の体重測定を実施し、個々の栄養摂取量に見合った食事の提供をしている。入居者個々の能力に応じて、下膳や片付けなどをして頂き、職員も同じ時間に同じ食事を食べるよう努力されている。	

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士がいるので，栄養バランスを考えカロリー・量なども人により変えている。水分量にも気をつけ最低1リットルは飲んでもらえるよう，なかなか飲めない人は一日の水分摂取量を記入している。飲み物はお茶だけではなく，コーヒー・紅茶など好きな物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>声かけで歯磨きに行かれる方，介助にて行わせてもらっている方，うがいができない方はハミングッドなどで清潔保持をさせてもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを記録し，一人一人に合った時間帯に声かけをしたり，誘導したりしている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し，極力トイレ誘導し，声掛けや見守りを行っている。便秘予防として，起床時に麦茶を摂取して頂いている。適時水分摂取に心掛け自然排便を促している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>繊維質の物を食材に取り入れたり，便秘予防に繋がるよう飲み物も工夫し取り入れている。体操，歩行運動も行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の希望に合わせ，毎日の人や一日おきの人など，時間帯も希望を聞いたりタイミングで入れるように支援をしている。</p>	<p>毎日の方や一日おきの方など希望に合わせた入浴をして頂いている。入浴拒否の対応として，対応職員の声掛けの工夫をしたり，やむを得ず入浴されない場合は，次の曜日に入浴して頂くなど柔軟な対応の支援をしている。</p>	

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人一人の生活リズムを把握し、安眠に繋げている。またその日の状態や希望により、居室や囲炉裏で休んでいただく事もある。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	一人一人に薬手帳があり、職員は理解している。服薬は飲み込みまで確認している。変化があれば医師に相談させてもらっている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	生活歴を把握し、その力が発揮できるように、出来る事は何でもして頂き、気分転換など出来るようにしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	近場であれば、外出として行くことはあるが、そうでない場合は、家族にお願いする事もある。	本人の意思を尊重したり、時候やその日の気分や体調に配慮し外出支援を実施している。遠方などの場合は、家族と相談しながら家族対応での協力をお願いする場合がある。外出を通じて、地域の皆様との交流が図れるよう機会づくりに努めている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	家族よりおこずかいとしてお預かりし、買い物に行ったとき使ってもらっている。小銭を持っている方もいる。		

2階 やわらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があればいつでもできるようにしている。連絡などでご家族に電話をしたり、手紙を送ったりする時は、代わって話をしてもらったり、同封したりしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関に椅子を置いたり、レースのカーテンをし、眩しくないようにしたり、花を飾ったり、音楽をかけるなど工夫をしている。	入居者が作成した作品を取り入れ、季節に合わせた植物や飾り付けをしている。共同空間が家庭的で、ホーム内も適度な採光が入り、全職員も穏やかな対応を心掛け、入居者一人ひとりが心休まり安心して生活されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホール、リビング内にソファを置いたり、囲炉裏に座ってお話をされたり、テレビを見られたりされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今まで使われていた布団・タンス・テーブル・椅子・洋服かけ・ご家族の写真など持って来られ居心地のよいようにされている。	入居時や必要時その都度相談しながら私物を自由に持ち込まれている。本人が居心地よく生活できるよう常に相談しながら環境調整に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ・入浴・居室など目印になるものをしたり、バリアフリーで移動しやすいようにしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 和楽

作成日 平成 23 年 4月 22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の育成が課題	職員のレベルアップに力を入れる。後継者育成をしていく。	内容を蜜にし、内部・外部研修を行ったり、後継者育成に繋がる研修も行っていく。	1年
2	26	介護計画の作成で、ネガティブな表現が多い	ICFの考え方にしていく。	3ヶ月毎に、見直しを行っている。勉強会を行いICFの考え方を取り入れていく。	6ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。